

保育所と幼稚園の先生が連携 保育士・幼稚園教諭の魅力を発信します！

保育士・幼稚園教諭は、乳幼児期の育ちと学びを支える重要な役割を担う職業です。保育・幼児教育の需要が高まり、新たな担い手が必要となる一方、養成校の入学者が減少するなど、人材の確保が厳しくなっています。横浜市では、喫緊の課題として、人材の確保と質の向上に取り組んでいます。

そうした中、保育所、幼稚園等の各団体の皆様方が、団体の垣根を越えて、保育・幼児教育の魅力を伝え、保育士・幼稚園教諭を目指す人を増やす取組を行う「横浜幼保プロジェクト実行委員会」を令和元年度に立ち上げました。

令和2年度は、コロナ禍でイベント等の開催が難しい中、実行委員会による取組が形となりましたので、お知らせします。

●横浜幼保プロジェクト実行委員会による令和2年度の実行内容

【1】横浜幼保プロジェクトのホームページの開設(<https://www.yokohamabang.com/>)

横浜の保育・幼児教育の魅力や各団体の活動情報等を発信するプラットフォームとして、ホームページを開設しました。

横浜幼保プロジェクト

検索

【2】【4月1日公開!】「ヨコハマ・バーン みんなで踊ろう」動画

中高生の皆様が、保育・幼児教育に興味を持つきっかけとなるよう、保育所、幼稚園等の先生たちがダンスを踊った動画を作成しました。※You Tube で公開

【3】リーフレットの作成・配付

中学校及び高校のキャリア教育や進路相談等において活用していただくため、保育・幼児教育の魅力を伝えるリーフレットを作成し、配付しています。

詳細については、別紙、横浜幼保プロジェクト実行委員会による、記者発表資料をご覧ください。

<参考>「横浜幼保プロジェクト」について（令和元年10月設立）

市内の保育四団体（社会福祉法人横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市私立保育園連盟、日本保育協会横浜支部、一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会）と、幼稚園団体（公益社団法人横浜市幼稚園協会）及び横浜市をメンバーとし、団体の垣根を越えて、将来の人材確保を目的に、保育士及び幼稚園教諭の魅力を発信等を行っています。

お問合せ先

こども青少年局保育対策課担当課長 佐藤 やよい Tel 045-671-4468

別紙あり

中高生向けに幼稚園教諭・保育士の魅力を発信！

令和2年度「横浜幼保プロジェクト」の取組を発表します

昨今、保育・幼児教育の分野では、保育士・幼稚園教諭への就職者や養成校への就学者が減少し、人材の確保が喫緊の課題となってきています。そこで、横浜市内の保育所・幼稚園の各団体が横浜市と連携して、将来の担い手を増やすべく、保育士や幼稚園教諭の仕事の魅力を中高生向けに発信する「横浜幼保プロジェクト」を実施しています。

令和2年度は、先生たちによる企画会議を重ね、次の3つの取組を行いましたのでお知らせします。

◇令和2年度プロジェクト取組内容◇

横浜幼保プロジェクト

検索

1) 横浜幼保プロジェクトのホームページの開設 (<https://www.yokohamabang.com/>)

横浜の保育・幼児教育の魅力や各団体の活動情報等を発信するプラットフォームとして、ホームページを開設しました。今後は、魅力発信のほか、就職イベント等、様々な情報を掲載していきます。

2) 【4月1日公開!】「ヨコハマ・バーン みんなで踊ろう」動画 (https://youtu.be/eFkzkcY2_wA)

中高生の皆さんが、保育・幼児教育に興味を持つきっかけとなるよう、先生たちがダンスを踊りました! 楽曲は、運動会等で子どもたちと踊ることの多かったNiziUの「Make you happy」をセレクト。保育所・幼稚園の現場の楽しさが伝わる動画です。
『ヨコハマ・バーン』で検索ください。



3) リーフレットの作成・配付

市内中学校及び神奈川県内の高校において、キャリア教育や進路相談等で活用していただけるよう、保育・幼児教育の魅力を伝えるリーフレットを作成し、配付しています。



【横浜幼保プロジェクト実行委員会(委員長 佐野 健一)】

(構成団体: 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市私立保育園連盟、日本保育協会横浜支部、一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会、公益社団法人横浜市幼稚園協会、横浜市)

お問い合わせ先

横浜幼保プロジェクト実行委員会

2年度事務局: (福)横浜市社会福祉協議会 社会福祉部長 仲丸 等 Tel 045-201-2252